

## 大阪教育合同労働組合第33回定期大会 第1号・3号議案- 修正案一覧

### 1. 修正案一覧

#### 受け入れる修正案

修正案1	提案者 高校支部
修正箇所 3号議案 43頁 IX. 人間らしい生活環境づくりをめざします	
<p>原案 記述なし</p> <p><b>【執行部見解】</b> 受け入れる。 ただし、提案理由の「具体的には、」以下の内容について、各職場、個人の状況によって意見が分かれるところであり、組合員の意見を交換し、より良い具体策を考えていきたい。</p>	<p>追加 修正案 8. 感染症から児童・生徒・教職員の命を守るために、必要かつ具体的な策を講じることを要求します。</p> <p><b>【理由】</b> 昨年度に比べ、現在の感染状況は比較にならないほど深刻である。それゆえこの問題は、組合として最重点項目として取り組むべき喫緊の課題であるとする。 大阪の医療機関は全国的に見て最悪の崩壊状態にあり、死者数は連日全国一で、5月6日時点で10人に1人しか入院できていない状況である。現在流行している変異種の、10代20代の陽性者数は非常に高率で、30代の死者も出ている。また、罹患者の多くが後遺症に苦しめられているというデータもある。 そのような状態にあっても、府教委はクラブ活動と行事の中止・延期を高校に求めるだけで、緊急事態宣言以前と同様に、全日制普通科では40人での授業を続けるように指示している。高齢であったり持病があったり病弱な子供がいたりする教員はもちろんのこと、若い健康な教職員でさえも、昨年度とは比べものにならないほどの恐怖心を持って働いている現状がある。教職員と生徒の生命を守り、安心安全な暮らしと学びの場を確保するために、組合として府教委に積極的に提言すべきと考える。  具体的には、消毒液や消毒・清掃時の手袋等の備品の要求、トイレなど感</p>

	<p>染確率の高い場所には専門の清掃員の配置を要求する、時間単位のテレワーク取得などは、感染予防として当然要求すべきである。</p> <p>授業に関しては、分散登校や6限授業を半分にするなど授業時間数を削減し、生徒が学校で食事を取らないような時間割にする。あるいは、思い切って医療崩壊が解決するまで、（できればせめて大阪市内だけでも）休業を実施するなどである。</p> <p>休業にするとオンラインの負担が教員にかかる懸念する向きもあるが、生徒の実態を見てもオンラインが無理なのは明白である。</p> <p>昨年度同様、課題の郵送などを検討する、緊急事態時という有事の対応として授業日数確保の縛りを緩めるなど、学校に負担をかけない措置を要求し、教職員及び生徒を守る対応を求めるべきではないか。今は、一日も早く感染を抑えるために何ができるのか、そこに知恵を絞るべきだと考える。</p>
--	---

## 2. 正誤表

ページ数	誤	正
表紙	33th	33rd
20 頁下から 10 行目	断行	団交
20 頁下から 4 行目	提訴	申立
24 頁上から 10 行目	制か	成果
45 頁	2021 年度	2022 年度